35

1. いも類の収穫面積
2. 野菜の収穫面積
3. 飼料作物と植木・苗木・花きの収穫面積

1. いも類の収穫面積

1969 年（沖縄県は 1971 年）のかんしょの収穫面積は 12.2 万 ha で、収穫農家は 164 万戸である。

作物統計によると、1969 年産のかんしょの収穫量は 285.5 万 t で、作付面積 10 a あたり収量は 1,860 kg である。かんしょの消費量は、その年の収穫量にほぼ等しいが、1964 年以降減少を続けている。1969 年のかんしょの用途別消費量は、澱粉用 40%、飼料用 27%、市場販売用 10%、農家自家食用 8%、蒸溜酒用 7%、種子用、その他それぞれ 4% となっている。

1969 年のばれいしょの収穫面積は 12.8 万 ha で、収穫農家は 312 万戸、そのうち販売農家は 40 万戸である。

作物統計によると、1969 年産の春植えばれいしょの収穫量は 347.4 万 t、作付面積 10 a あたり収穫量は 2,050 kg で、秋植えばれいしょの収穫量は 10.1 万 t、作付面積 10 a あたり収穫量は 1,744 kg である。ばれいしょの作付面積は減少しているが、かんしょの減少ほどいちじるしくはない。

〔凡例と作図の要点〕

いも類のうち、かんしょとばれいしょの収穫面積を図示した。なお、さといも、やまいもなどは、統計上野菜として扱われている。

〔資料〕

1．農林省，1970 年世界農林業センサス
2．農林省，1971 年沖縄農業センサス
3．農林省，昭和 44 年産、47 年産作物統計

2. 野菜の収穫面積

1969 年（沖縄県は 1971 年）の野菜類の収穫面積は 36.7 万 ha である。野菜類を収穫した農家は 450 万戸、うち販売農家は 110 万戸である。収穫農家の全農家にたいする割合は 84% であり、1960 年、1965 年の 90%、86% より低下している。一方野菜類が農産物販売収入のうち 1 位をしめる農家は、1965 年に野菜販売農家の 20%、1970 年に同じく 27% とその割合を高めている。

野菜類収穫農家の収穫面積規模は、0.1 ha 未満の階層が 80%、0.1～0.3 ha の階層が 14%、0.3～0.5 ha の階層が 3%、0.5 ha 以上の階層が 3% で、大多数は零細な収穫農家である。

農業粗生産額にしめる野菜類の割合は、1960 年 8.3%、1965 年 11.7%、1969 年 13.6% と増加している。

〔凡例と作図の要点〕

1970 年世界農林業センサスで、12 に分類されている作物を、果菜類、葉菜類、根菜類などに分類集計して表示した。

なお、施設（温室）による野菜収穫面積（0.8 万 ha）は表示してない。

〔資料〕

1．農林省，1970 年世界農林業センサス
2．農林省，1971 年沖縄農業センサス
3．農林省，昭和 47 年産作物統計

3. 飼料作物と植木・苗木・花きの収穫面積

1969 年（沖縄県は 1971 年）の飼料作物の収穫面積は、牧草 33.8 万 ha、青刈とうもろこし 5.4 万 ha、れんげ 4.6 万 ha、家畜用根菜類 2.1 万 ha、その他 1.2 万 ha、合計 47.1 万 ha である。牧草、青刈とうもろこし、家畜用根菜類は北海道でもっとも多く、れんげは鹿児島県でもっとも多い。

作物統計によると、1969 年の収穫量は、牧草 1482 万 t、青刈とうもろこし 323 万 t、れんげ 138 万 t、その他 190 万 t である。牧草の作付面積は、大規模草地などの開発によりいちじるしく増加している。牧草の種類は、まめ科牧草が減少し、それにかわっていね科牧草、およびいね科牧草とまめ科牧草のまぜまきが増加している。れんげの作付面積は減少しているが、青刈とうもろこしの作付面積はわずかに増加している。

植木・苗木・花きの収穫面積は 18,800 ha である。その内訳は、球根類 1,700 ha、切花・草花・観葉植物・装飾用樹木等が 7,400 ha、造林用苗木をふくむ種苗・苗木類が 9,700 ha である。種類別の収穫面積上位 3 県をあげると、球根類は鹿児島県、新潟県、富山県、切花等は静岡県、東京都、千葉県、種苗・苗木類は福岡県、埼玉県、三重県である。

〔凡例と作図の要点〕

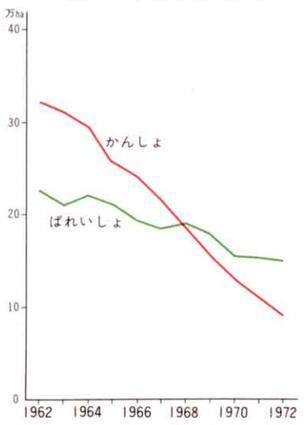
飼料作物のれんげは種子用のものをふくむ。

植木・苗木・花きは販売用のものだけである。なお、施設（温室）による花き類の収穫面積（1,200 ha）は表示していない。

〔資料〕

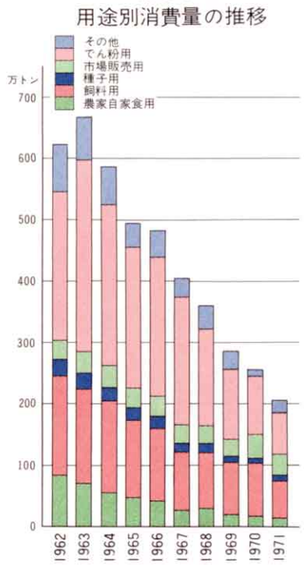
1．農林省，1970 年世界農林業センサス
2．農林省，1971 年沖縄農業センサス
3．農林省，昭和 44 年産、47 年産作物統計

いも類の作付面積の推移



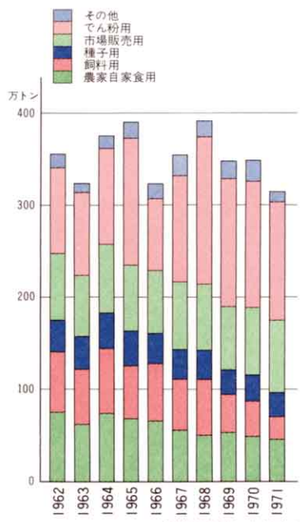
（作物統計から作成）

かんしょの用途別消費量の推移



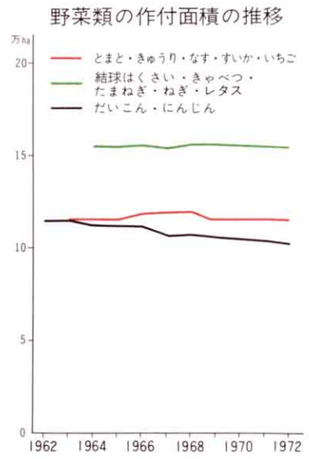
（作物統計から作成）

春植えばれいしょの用途別消費量の推移



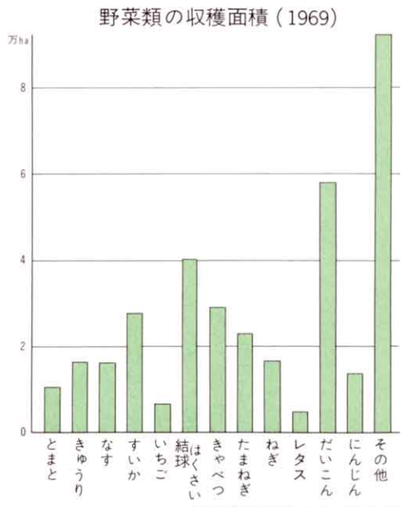
（作物統計から作成）

野菜類の作付面積の推移



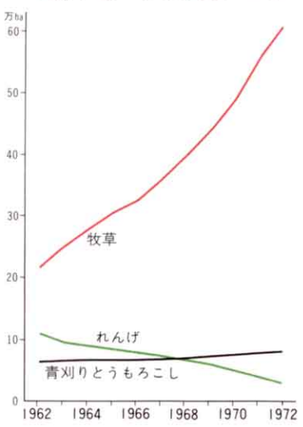
（作物統計から作成）

野菜類の収穫面積（1969）



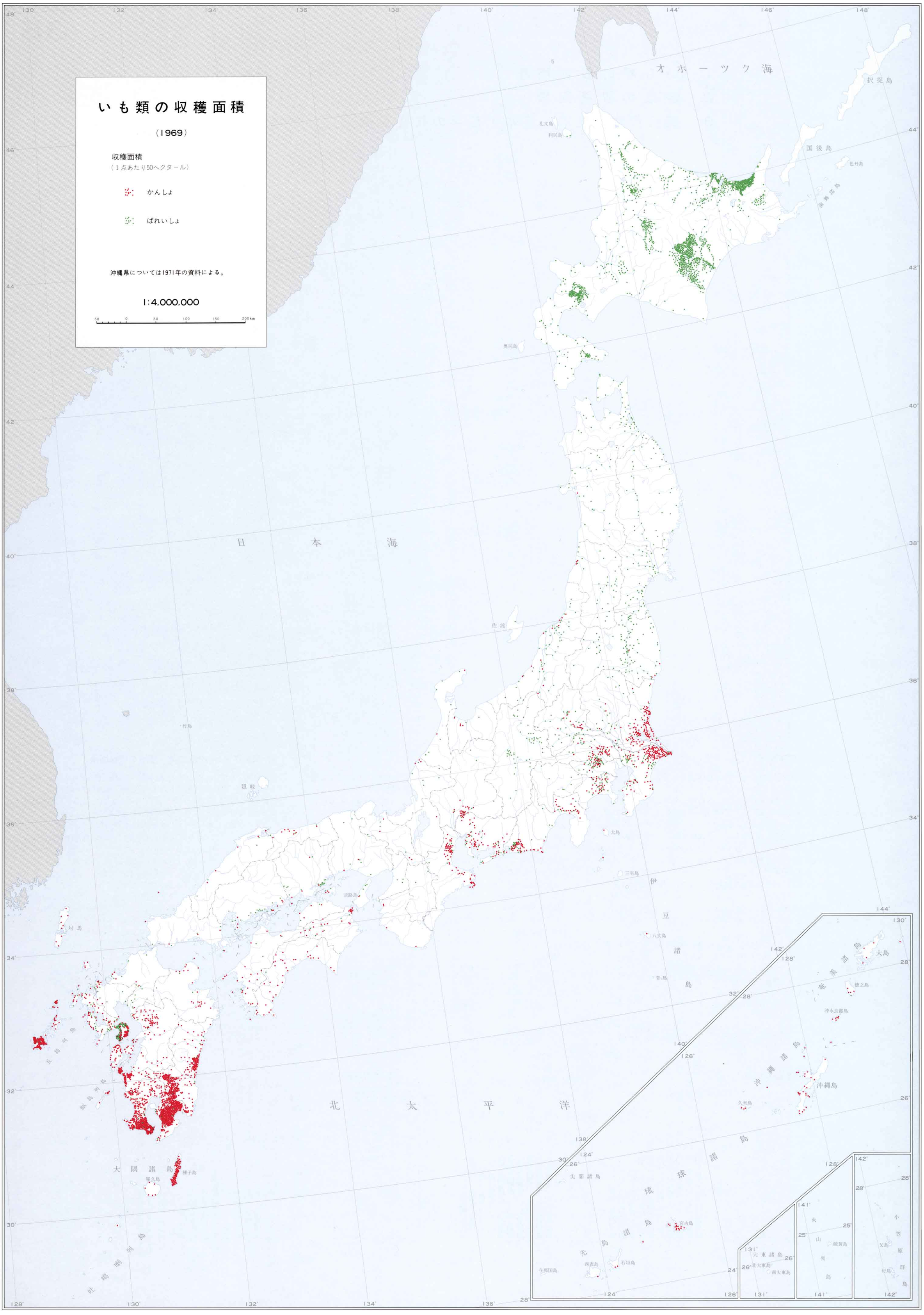
（世界農林業センサスから作成）

飼料作物の作付面積の推移

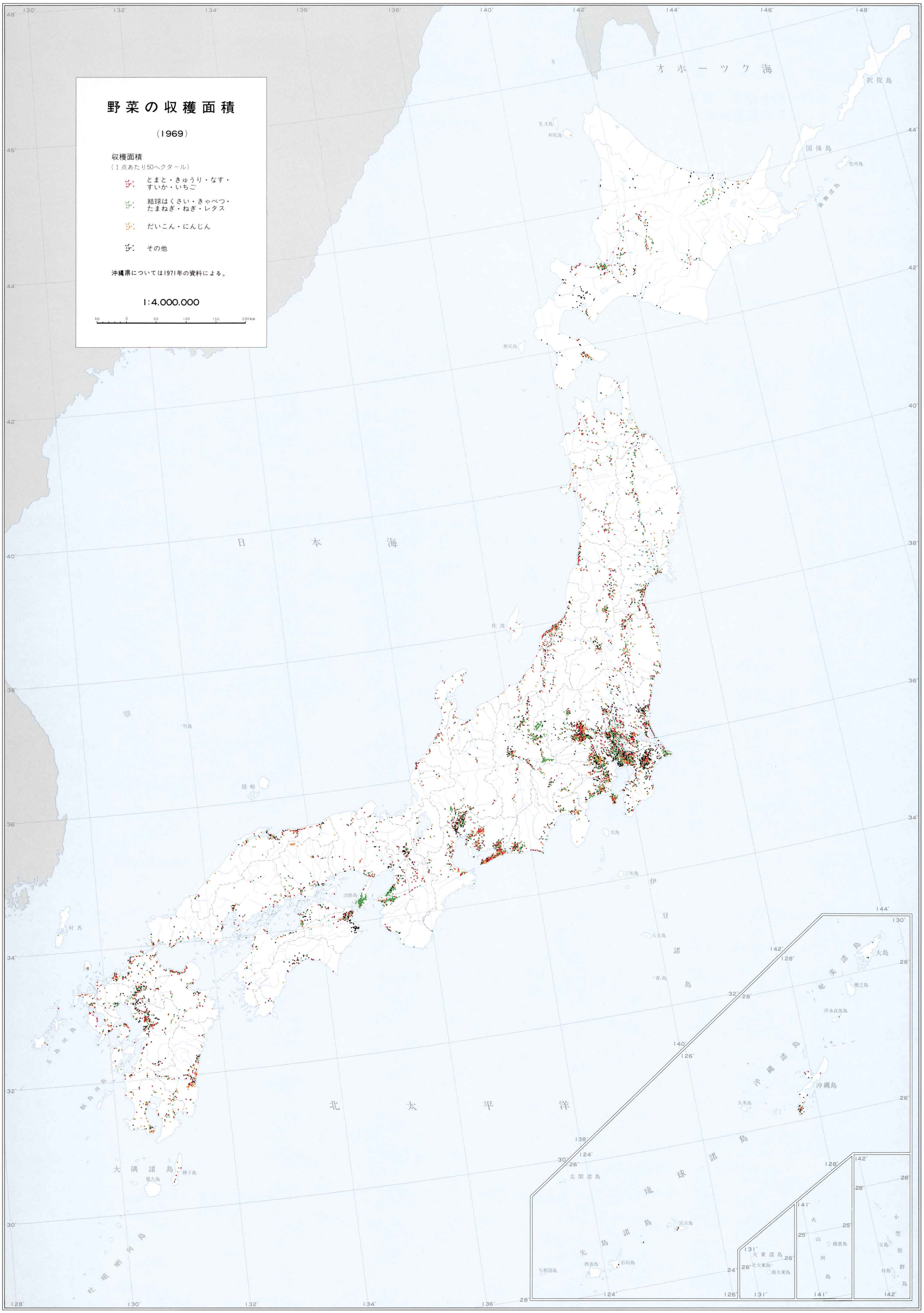
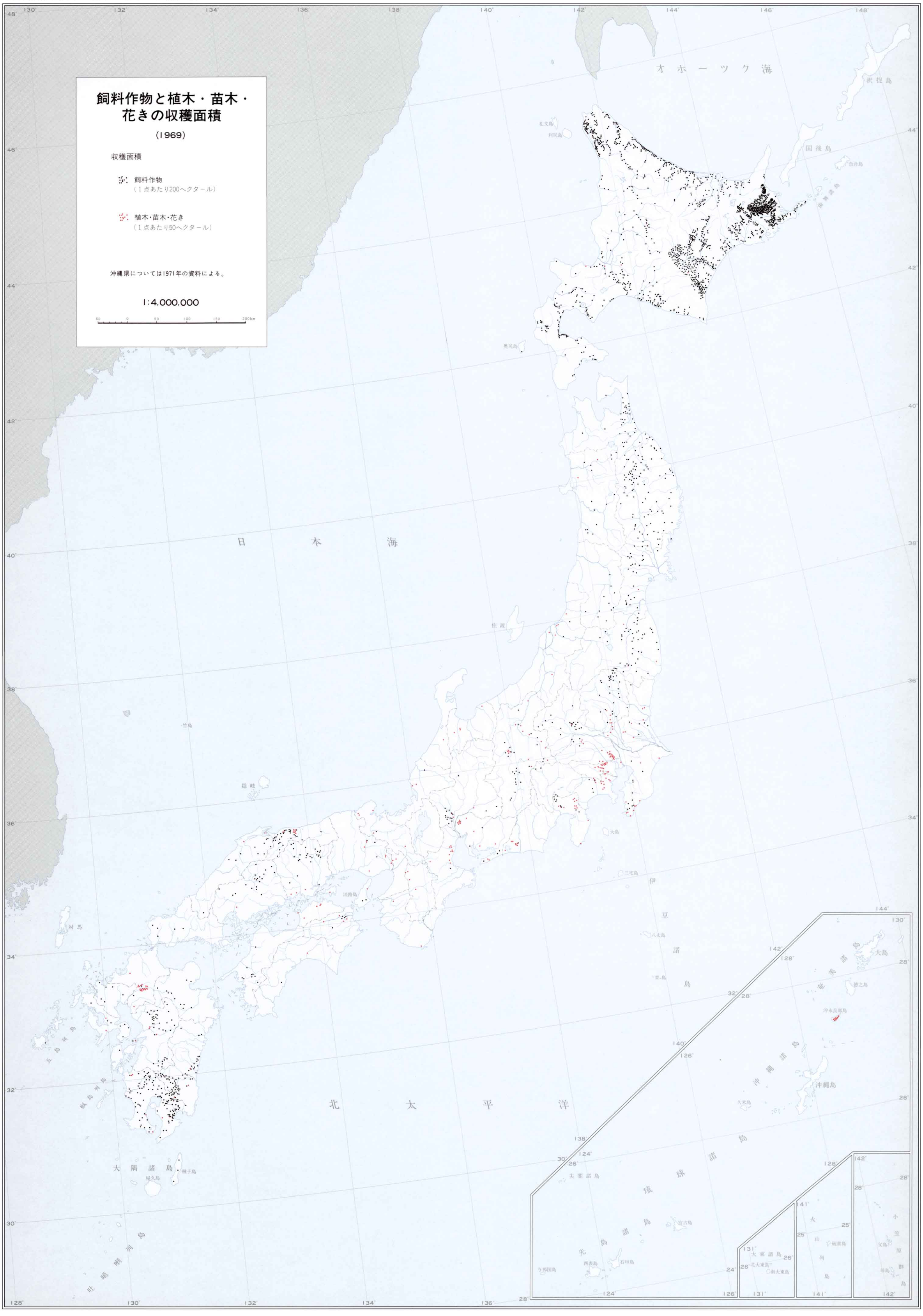


（作物統計から作成）

いも類の収穫面積


いも類の収穫面積
(1969)
収穫面積
(1点あたり50ヘクタール)
かんしょ
ばれいしょ
沖縄県については1971年の資料による。
1:4,000,000
オホーツク海
日本海
北太平洋
択捉島
国後島
色丹島
歯舞諸島
礼文島
利尻島
奥尻島
佐渡
隠岐
竹島
淡路島
対馬
大島
三宅島
伊豆諸島
八丈島
青ヶ島
五島列島
甑島列島
大隅諸島
種子島
屋久島
吐噶喇列島
小笠原諸島
父島
母島
硫黄列島
硫黄島
南西諸島
大東諸島
北大東島
南大東島
沖縄諸島
沖縄島
久米島
慶良間諸島
沖永良部島
与那国島
西表島
石垣島
宮古島
先島諸島
尖閣諸島
琉球諸島

35.2


野菜の収穫面積
(1969)
収穫面積
(1点あたり50ヘクタール)
とまと・きゅうり・なす・すいか・いちご
結球はくさい・きゃべつ・たまねぎ・ねぎ・レタス
だいこん・にんじん
その他
沖縄県については1971年の資料による。
1:4,000,000
50 0 50 100 150 200km
オホーツク海
日本海
北太平洋
択捉島
国後島
色丹島
歯舞諸島
礼文島
利尻島
奥尻島
佐渡
隠岐
竹島
大島
三宅島
伊豆諸島
八丈島
青ヶ島
小笠原諸島
父島
母島
硫黄島
南大東島
北大東島
沖縄諸島
沖縄島
久米島
宮古島
石垣島
西表島
与那国島
尖閣諸島
先島諸島
琉球諸島
種子島
屋久島
大隅諸島
五島列島
壱岐島
対馬
淡路島
トカラ列島
吐噶喇列島

飼料作物と植木・苗木・花きの収穫面積